

授業改善書

科目名	保育内容の研究（健康）Ⅱ
担当者	丸山東人

授業の概要

保育の質を、健康教育学の観点から考究している。専任の先生方が尽力されているため、保育所保育指針および幼稚園教育要領の中での「健康・安全」や、乳幼児期の子どもの健康支援に関しては、みな既に、健康Ⅰと幼児体育ほか関連する授業（保健、心理、5領域Ⅰ等）を通じ十分な学修を済ませている。この利点を生かす形で、健康Ⅱでは、既習事項のおさらいをしつつ、対象年齢や話題提供の幅を広くとりながら進めている。

特に、教授内容と学校保健学との円滑なつながりには、相当留意している。履修者が学校教諭（小、中、高）に就いた場合でも、勤務校の養護教諭から「この先生は、子どもの健康課題をある程度は勉強しているようだ」との評価を受けられるように、極々広く浅くではあるが話題提供をしているつもりだ。

授業の問題点

スコア上、問題となる点は見当たらない。今回はサンプル数が過少のため、数値は高めである。項目別に見ると、例年と同じような傾向がみられる。

学生の授業満足度

今年度は、人数が過少のため、①事前にワークシートを配り、②何を考えながら聴いていたのか、疑問・質問したいことは何か、等を自由を書いて提出させ（匿名可）、③回収後にスキャンしてPDFファイルに一本化、④担当者からのコメントを付け出席者全員に送信、という試みをした。

受講者からは既に、「同じ授業でも、それぞれ着眼点が違うのが面白い」「深い学びにつながる」「ディスカッションにつながるかも」等の意見を頂いており、好評だったようだ。どの学生も、細かくメモを取り、熱心な論述をしていたので、むしろ感謝している。

授業改善の課題と方策

今回は「レジュメの内容や試験問題は同一でも、人数によって全く違う授業展開ができる」、ということを改めて体験した。ある学生のいう通り、上記④のファイルを用いて総合討議を行う機会があれば、皆で時を忘れて楽しめるだろう。時間の都合上、どうしても難しい面はあるが、そうした時間を作れるように工夫を重ねたい。

その他

（私見）

僭越な言い方だが、私は着任時より、「保育内容健康Ⅰ・Ⅱを開講している大学は多々あるが、埼玉学園の保育内容健康は、全国どの大学にも劣っていない」という心持ちで奉職してきた、それだけに、今年度の履修者の減少は、当初は本当に悔しかった。

しかし一方で、上述した通り、授業を創る楽しみを味わうことができた。また、暑い日には納涼会と称してアイスクリームを食べ、食育の授業では共食（皆で食べる喜び）を体験するためにポッキー食べるなど、楽しく進めることもできた。これらは、全て学生の協力があってこそ経験である。コロナ禍であっても熱心に学んでいる貴大学の学生には心から敬意を表したい。私は、非常勤講師の立場ではあるが、これからも、学期中は学生の熱心さに対応すべく試行錯誤を続ける所存だ。